泉大津市文化財調査報告28

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報14

1996・3

泉大津市教育委員会

泉大津市文化財調査報告28

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報14

1996・3

泉大津市教育委員会

例　　言

1．本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。

2．本調査は、国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額900,000円、国庫補助率50％、府補助率25％、市負担率25％）として、泉大津市が計画・実施したものである。

3．本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	塙　四郎
事　務　局	泉大津市教育委員会社会教育部社会教育課	
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	坂口　昌男
		虎間　麻実
外業調査員		辻川　陽一

4．本事業は、平成７年度事業として、平成７年４月１日に着手して、平成８年３月29日に完了した。

5．本書は１章を坂口、２章を虎間が執筆し、編集は虎間が行った。

目　　次

第１章　埋蔵文化財調査の状況…… 1
第２章　発　掘　調　査　成　果…… 7
池上曽根遺跡…… 7
豊　中　遺　跡…… 9
虫　取　遺　跡……14
板　原　遺　跡……16
七ノ坪遺跡……19
森　　遺　　跡……21
東　雲　遺　跡……23
報告書抄録……巻末

挿　　図

第１図　遺跡分布図…… 6
第２図　池上曽根遺跡調査地点図（1:5,000）…… 7
第３図　池上曽根遺跡　第１地点　北壁断面図…… 7
第４図　池上曽根遺跡　第１地点　掘削位置図…… 8
第５図　池上曽根遺跡　第２地点　東壁断面図…… 8
第６図　池上曽根遺跡　第２地点　掘削位置図…… 8
第７図　豊中遺跡調査地点図（1:5,000）…… 9
第８図　豊中遺跡　第１地点　掘削位置図…… 9
第９図　豊中遺跡　第１地点　北壁断面図……10
第10図　豊中遺跡　第２地点　掘削位置図……11
第11図　豊中遺跡　第２地点　東壁断面図……11
第12図　豊中遺跡　第３地点　堀削位置図……12
第13図　豊中遺跡　第３地点　北壁断面図……12
第14図　豊中遺跡　第４地点　掘削位置図……13
第15図　豊中遺跡　第４地点　南壁断面図……13
第16図　虫取遺跡調査地点（1:5,000）……14
第17図　虫取遺跡　調査地　北壁断面図……14
第18図　虫取遺跡　調査地　掘削位置図……15

第19図　板原遺跡調査地点図（1:5,000）……16
第20図　板原遺跡　第１地点　掘削位置図……17
第21図　板原遺跡　第１地点　北壁断面図……17
第22図　板原遺跡　第２地点　掘削位置図……18
第23図　板原遺跡　第２地点　北壁断面図……18
第24図　七ノ坪遺跡調査地点図（1:5,000）……19
第25図　七ノ坪遺跡　調査地　掘削位置図……19
第26図　七ノ坪遺跡　調査地　北壁断面図……20
第27図　森遺跡調査地点図（1:5,000）……21
第28図　森遺跡　調査地　北壁断面図……21
第29図　森遺跡　調査地　掘削位置図……22
第30図　東雲遺跡調査地点図（1:5,000）……23
第31図　東雲遺跡　調査地　北壁断面図……23
第32図　東雲遺跡　調査地　掘削位置図……24

挿　表

表１　遺跡別届出件数…… 1
表２　遺跡別調査件数…… 2
表３　平成７年度調査結果一覧表…… 2
表４　遺跡別届出件数（平成６年度追加分）…… 5
表５　遺跡別調査件数（平成６年度追加分）…… 5
表６　平成６年度調査結果一覧表（追加分）…… 5

図　版

1　池上曽根遺跡第１地点調査坑 ／ 池上曽根遺跡第２地点調査坑
2　豊中遺跡第１地点調査坑 ／ 豊中遺跡第２地点調査坑
3　豊中遺跡第３地点調査坑 ／ 豊中遺跡第４地点調査坑
4　虫取遺跡調査坑 ／ 板原遺跡第１地点調査坑
5　板原遺跡第２地点トレンチ２ ／ 七ノ坪遺跡調査坑
6　森遺跡調査坑 ／ 東雲遺跡調査坑

第１章　埋蔵文化財調査の状況

平成７年度の泉大津市における埋蔵文化財発掘届出件数及び調査件数は、表１、２のとおりである。届出件数は平成８年１月31日現在で185件と、昨年同時期の160件よりやや増加している。届出件数は数年来減少傾向にあったが、一昨年度以来やや上向き傾向を示すようになった。しかし、景気の回復にはまだまだほど遠いと思われる。届出工事等の種別でみると、個人住宅関連工事が90％（86％）、工場・倉庫１％（１％）、店舗・事務所２％（４％）、共同住宅７％（２％）となっていて、個人住宅関連工事の増加と共同住宅建設の増加が目立つ他は、昨年とほぼ同様である。（（　　）内は昨年の数字）遺跡別の発掘調査件数が最も多いのは、豊中遺跡の４件（前年度追加報告分含む）である。これらは、そのほとんどが共同住宅及び個人住宅の建設に先立つ調査である。その調査方法はトレンチ掘削による土層断面及び底面の観察で、ほとんどの地点では遺跡・遺物等は認められず、全面調査に至るものはなかった。また今年度も個人住宅の建設工事に関しては、基礎掘削深度が浅いことから、大半は立会調査とした。また、架線支持柱建設、ガス管及び水道管の家庭引き込みは、慎重工事の実施を指示し調査は行っていない。

表１　遺跡別届出件数

（平成７年４月１日～平成８年１月31日）

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上曽根遺跡	32	12	18	1			1	
豊中遺跡	34	14	10	6		2	2	
虫取遺跡	40	17	19	1		1	2	
大園遺跡	9	4	3		1		1	
板原遺跡	4		3				1	
池浦遺跡	31	13	15	2			1	
七ノ坪遺跡	7		5				1	1
東雲遺跡	21	11	5	3			2	
穴師薬師寺跡	2		1					1
森遺跡	2		2					
助松遺跡	2				1		1	
苅田城跡	1						1	
計	185	71 (38%)	81 (44%)	13 (7%)	2 (1%)	3 (2%)	13 (7%)	2 (1%)

表２　遺跡別調査件数

（平成７年４月１日～平成８年１月31日）

遺跡名	件数	内訳	
		発掘調査	立会調査
池上曽根遺跡	11	2	9
豊中遺跡	12	3	9
虫取遺跡	10	1	9
大園遺跡	3		3
板原遺跡	1	1	
池浦遺跡	10		10
七ノ坪遺跡	2	1	1
東雲遺跡	5	1	4
助松遺跡	2		2
計	56	9	47

表３　平成７年度調査結果一覧表

（平成７年４月１日～平成８年３月29日）

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考（調査番号）
4・14	下条町166－7	池浦遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
4・18	森町2丁目227－42	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
4・19	末広町1丁目332－30	大園遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
4・21	森町1丁目55－5 103－9	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
4・25	豊中町2丁目953－9	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨造２階個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9505）
5・2	北豊中町2丁目956－26	豊中遺跡	立会調査	鉄骨造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・16	宮町31－1の一部	池浦遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・22	東豊中町1丁目1､2	豊中遺跡	立会調査	電気管路新設工事による掘削で、遺構・遺物は認められなかった。
5・23	北豊中町2丁目985－3	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨造２階建単身者寮建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師器・瓦の各破片検出（9506）
5・26	助松町3丁目738－3の一部	助松遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考（調査番号）
5・31	宇多1048－36	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・6	宮町31－1の一部	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・7	末広町1丁目332－13	大園遺跡	立会調査	木造3階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・15	我孫子253－12	虫取遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
6・20	曽根町1丁目43－2	池上曽根遺跡	発掘調査	鉄骨造2階個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9507）
6・29	板原298、299－1	虫取遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
6・29	池浦町1丁目204－1	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・29	池浦町1丁目204－14	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・30	曽根町1丁目82－7	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・12	池浦町1丁目24－6、－7	虫取遺跡	立会調査	軽量鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・18	池浦町1丁目28-4の一部、28-5、28-17	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
8・1	森町1丁目265－1、266－1	池上曽根遺跡	立会調査	鉄骨造3階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
8・3	北豊中町1丁目540－1、541	七ノ坪遺跡	発掘調査	鉄骨造2階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。(9508)
8・25	我孫子528－1	穴師薬師寺跡	発掘調査	体育館建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師質土器・近世瓦片検出（9511）
9・4	豊中町2丁目953－14	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・5、6、7	助松町3丁目743-10、-11、751-1、752-1	助松遺跡	立会調査	鉄筋コンクリート造3階建社屋建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
9・6	曽根町2丁目12の一部	池上曽根遺跡	発掘調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師質土器検出（9509）
9・6	森町2丁目227－41	池上曽根遺跡	立会調査	鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
9・18	下条町168－14	池浦遺跡	立会調査	鉄骨造3階建共同住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
9・18	北豊中町3丁目974－24	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・11	東豊中町3丁目53－3外	豊中遺跡	立会調査	鉄骨造4階建飲食店舗建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
10・11	東豊中町1丁目51－2	豊中遺跡	立会調査	送電鉄塔建替工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
10・19	宮町31－9	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・23	宮町31－8	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考（調査番号）
10・24	末広町1丁目332－21 334－16	大園遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・26	豊中町2丁目284－1 285－1、－3	豊中遺跡	発掘調査	賃貸共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9510）
11・6	下条町168－17	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・6	下条町168－42	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・6	下条町168－43	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・8	森町2丁目227－41	池上曽根遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
11・11 13	東雲町76－1、－3	東雲遺跡	立会調査	鉄骨造3階建共同住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
11・16	池浦町1丁目27－1	虫取遺跡	発掘調査	鉄骨造8階建賃貸共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9512）
11・17	豊中町2丁目956－1	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・20 1・31	北豊中町1丁目2－1 7－19	七ノ坪遺跡	立会調査	配水管埋設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
12・1	寿町74－3、－4の一部	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・2	森町1丁目55－6 103－10	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・5	我孫子208－7	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
12・13	下条町253－12	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・20	東豊中町3丁目425、426	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・22	板原344－11	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・25	板原278－2 279－2	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
1・10	我孫子208－11	虫取遺跡	立会調査	木造3階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
1・12	北豊中町2丁目12－1	豊中遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
1・17	曽根町1丁目2－16	池上曽根遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
1・19	我孫子94－1の一部	板原遺跡	発掘調査	鉄骨造3階建店舗付共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9601）
1・24	東雲町80－3、81－2 85－2、－6	東雲遺跡	発掘調査	鉄筋コンクリート造3階建独身寮建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師器・瓦器細片検出（9602）
1・26	森町2丁目78－3、－6 190－3	池上曽根遺跡	立会調査	軽量鉄骨造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。

表４　遺跡別届出件数（平成６年度追加分）

（平成７年２月１日～平成７年３月31日）

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上曽根遺跡	14	7	5	2				
豊中遺跡	10	5	2			1	2	
虫取遺跡	12	9	1	2				
大園遺跡	1	1						
板原遺跡	1		1					
池浦遺跡	4	1	2	1				
七ノ坪遺跡	2		1	1				
穴田遺跡	1		1					
森遺跡	1						1	
助松遺跡	1	1						
計	47	24	13	6		1	3	

表５遺跡別調査件数（平成６年度追加分）

（平成７年２月１日～平成７年３月31日）

遺跡名	件数	内訳	
		発掘調査	立会調査
池上曽根遺跡	3		3
豊中遺跡	5	1	4
大園遺跡	1		1
板原遺跡	1	1	
池浦遺跡	1		1
森遺跡	1	1	
苅田遺跡	1		1
計	13	3	10

表６　平成６年度調査一覧表（追加分）

（平成７年２月１日～平成７年３月31日）

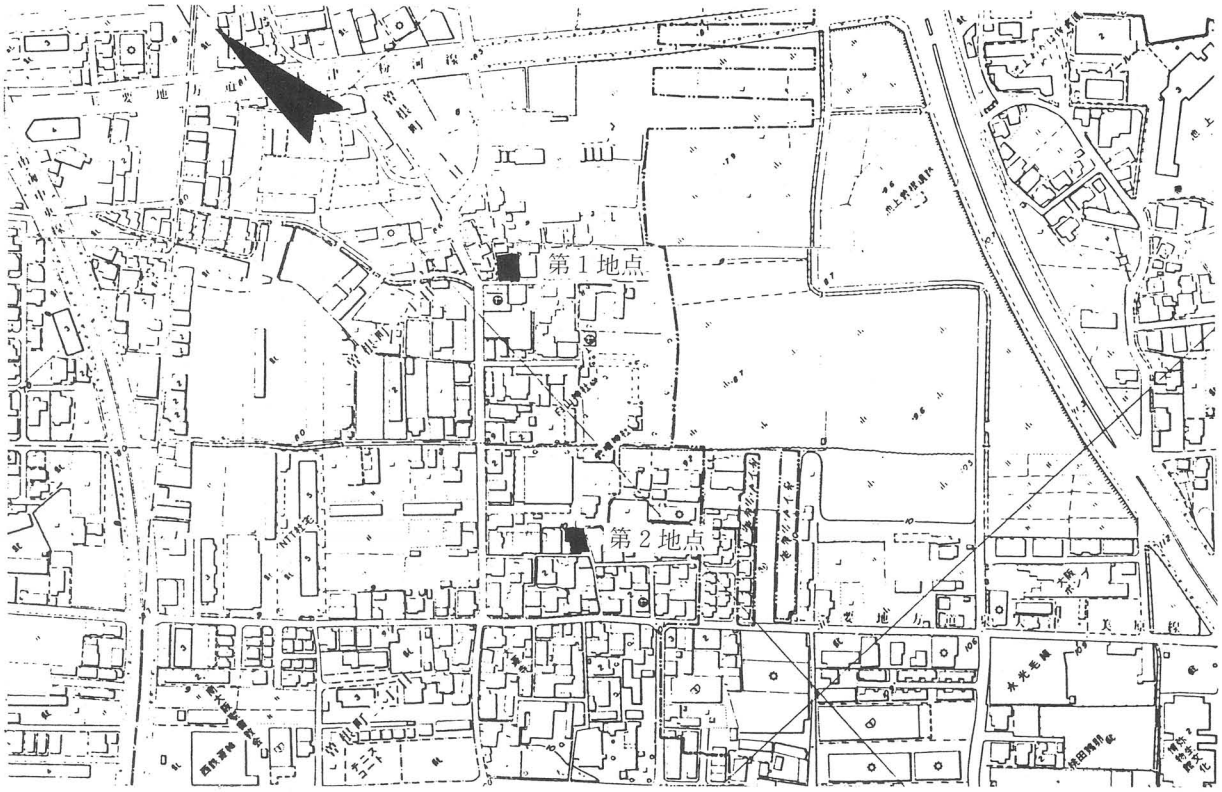
月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考（調査番号）
2・10	北豊中町3丁目977－7	豊中遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
2・16	東助松町1丁目421－1、422	森遺跡	発掘調査	鉄筋コンクリート６階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構等は認められなかった。漁撈用か狩猟用の土錘１個発見（9502）
2・17	豊中町3丁目770－1、767、768	苅田城跡	立会調査	木造２階建共同住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。
2・20	森町2丁目112－7	池上曽根遺跡	立会調査	軽量鉄骨造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
2・21	北豊中町3丁目979－29	豊中遺跡	立会調査	鉄骨造平屋建店舗建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
2・24	板原1236	板原遺跡	発掘調査	鉄骨造平屋建展示場建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9503）
2・24	豊中町2丁目441－3、442－4	豊中遺跡	立会調査	宅地造成による盛土工事で、掘削は行われなかった。
3・7	曽根町1丁目193-7、-8、-16、-17	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
3・7	曽根町1丁目193-9、-18	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
3・13	東豊中町1丁目95－2の一部	豊中遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
3・16	宮町31、32－5	池浦遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
3・20	尾井千原町137－7	大園遺跡	立会調査	木造３階建車庫付個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
3・23	北豊中町2丁目351	豊中遺跡	発掘調査	鉄筋コンクリート11階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。（9504）

1．大園遺跡　2．森遺跡　3．牛滝塚　4．助松遺跡　5．池上曽根遺跡　6．豊中遺跡　7．七ノ坪遺跡
8．穴師遺跡　9．池浦遺跡　10．東雲遺跡　11．穴師薬師寺跡　12．穴田遺跡　13．板原遺跡　14．虫取遺跡
15．大福寺跡　16．苅田城跡　17．千原城　18．真鍋城跡　19．城の山

第１図　遺跡分布図

第２章　発掘調査成果

１．池上曽根遺跡

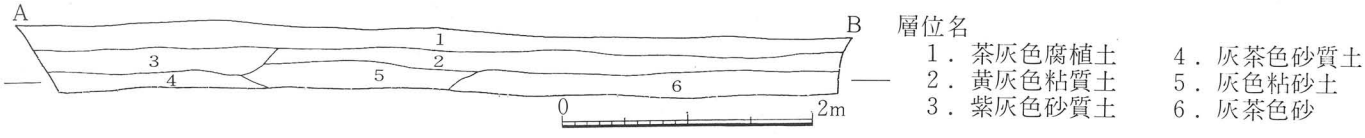


第２図　池上曽根遺跡調査地点図　（１：5,000）

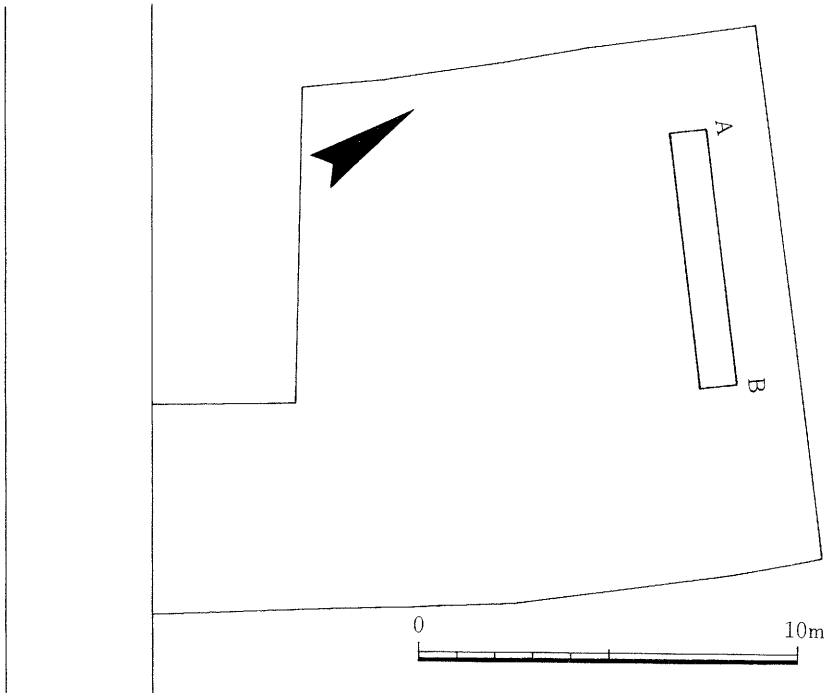
第１地点　曽根町１丁目43－２（調査番号9507）

本遺跡は泉大津市の東部北寄りにあり、東西500ｍ、南北1,500ｍの規模を有する。中心部は和泉市池上町にあり、昭和51年に、国の史跡に指定されている。

本年度は、この遺跡内２箇所で発掘調査を実施した。当該地は、遺跡の中央部やや南寄りの地点に位置する。鉄骨２階建ての個人住宅の建設が計画されたため、建設工事に先立ち、発掘調査を実施した。敷地の北隅に重機で幅１ｍ、長さ6.7ｍの規模の調査坑を設定し、約55㎝の深さまで掘削した。その後、人力で、壁面及び、底面を削平し、土層断面及び床面の観察を中心とする観察を行った。調査坑の層序は、上部から茶灰色腐食土（１層•16～20㎝）、黄灰色粘質土（２層・８～20㎝）で、灰色粘質土（５層）及び灰茶色砂（６層）に至る。西側では１層の下層は紫灰色砂質土（３層・約18㎝）で灰茶色砂質土（４層・10㎝以上）に至る。遺構•遺物は検出されなかった。断面実測図作成と、写真撮影を行い調査を終了した。



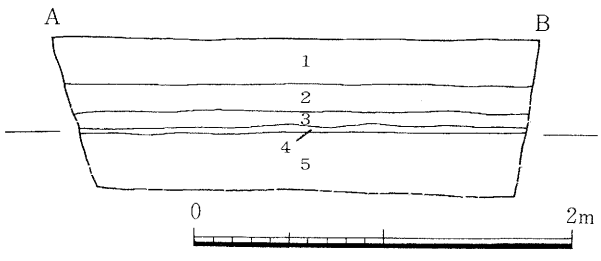
第３図　池上曽根遺跡　第１地点　北壁断面図



第４図　池上曽根遺跡　第１地点　掘削位置図

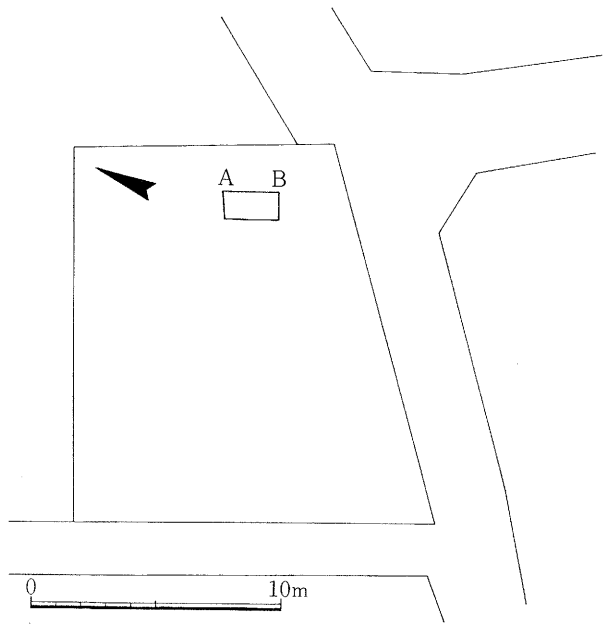
第２地点　　曽根町２丁目12の一部（調査番号 9509）

当該地は遺跡の西端に位置する。鉄骨２階建の個人住宅建設工事に先立って調査を実施した。敷地の東隅に重機で、長さ2.6m、幅1.1m、深さ0.8mの規模の調査坑を設定し、壁面を人力で削り、断面観察を実施した。層序は上層より盛土（１層・22cm）、灰色粘質土（２層・12cm）、旧耕土（３層・７cm）、灰茶色粘質土（４層・３cm）、茶灰色粘質土（５層・30cm以上）に至る。ほぼ水平な堆積が認められ、5層の茶灰色粘質土からは、土師質土器片、及び近世瓦片を検出したが、いずれも細片で図示し得なかった。遺構は検出できなかったため、写真撮影及び断面図作成を行い、調査を終了した。



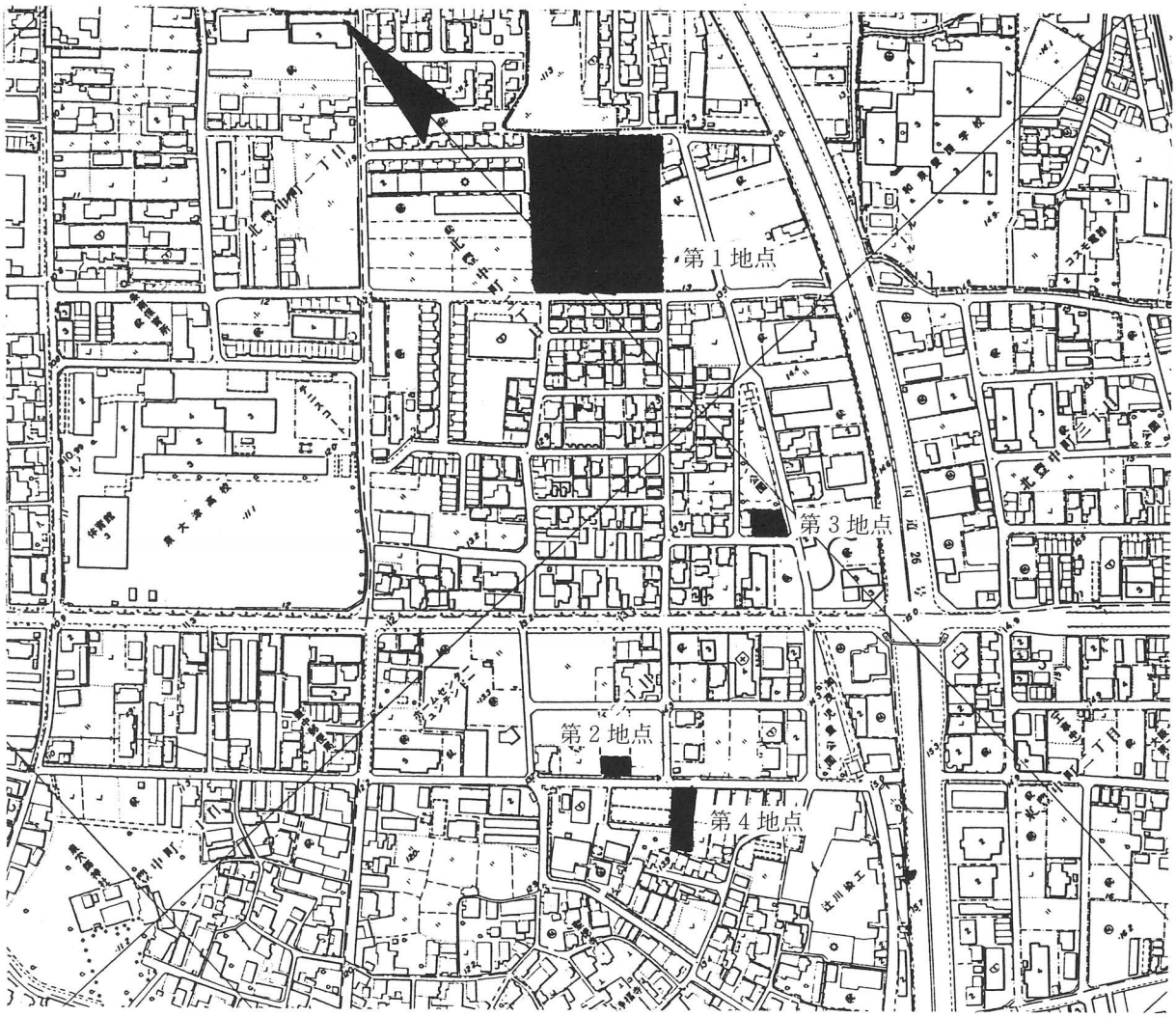
層位名
１．盛土
２．灰色粘質土
３．旧耕土
４．灰茶色粘質土
５．茶灰色粘質土

第５図　池上曽根遺跡　第２地点東壁断面図



第６図　池上曽根遺跡　第２地点　掘削位置図

2．豊中遺跡



第７図　豊中遺跡調査地点図（１：5,000）

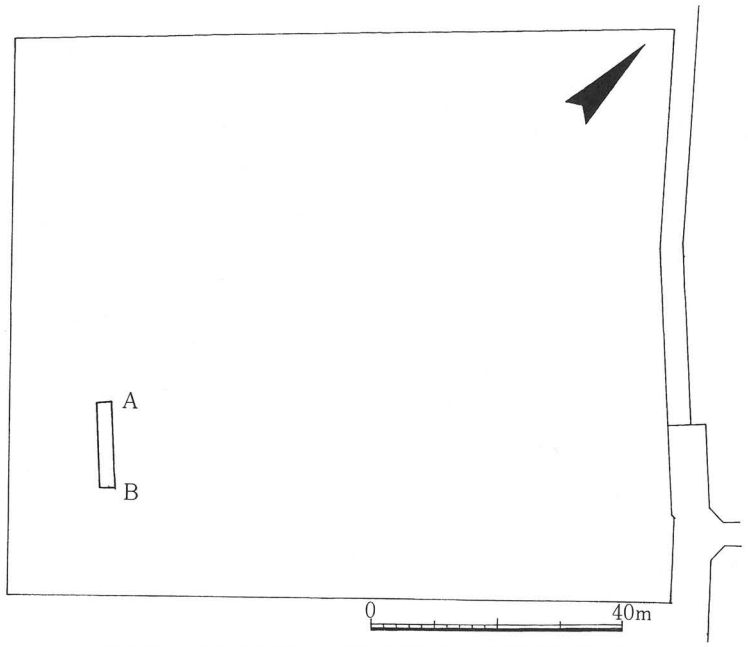
第１地点

北豊中２丁目351

（調査番号 9504）

本遺跡は市の東部に所在し、南北約1,100ｍ、東西約500ｍの範囲を有する。今年度は当遺跡内で４箇所の調査成果を報告する。

第１調査地点は、豊中遺跡の最も北部に位置する。鉄骨鉄筋コンクリート11階建て及び９階建ての集合住宅建設が予定され



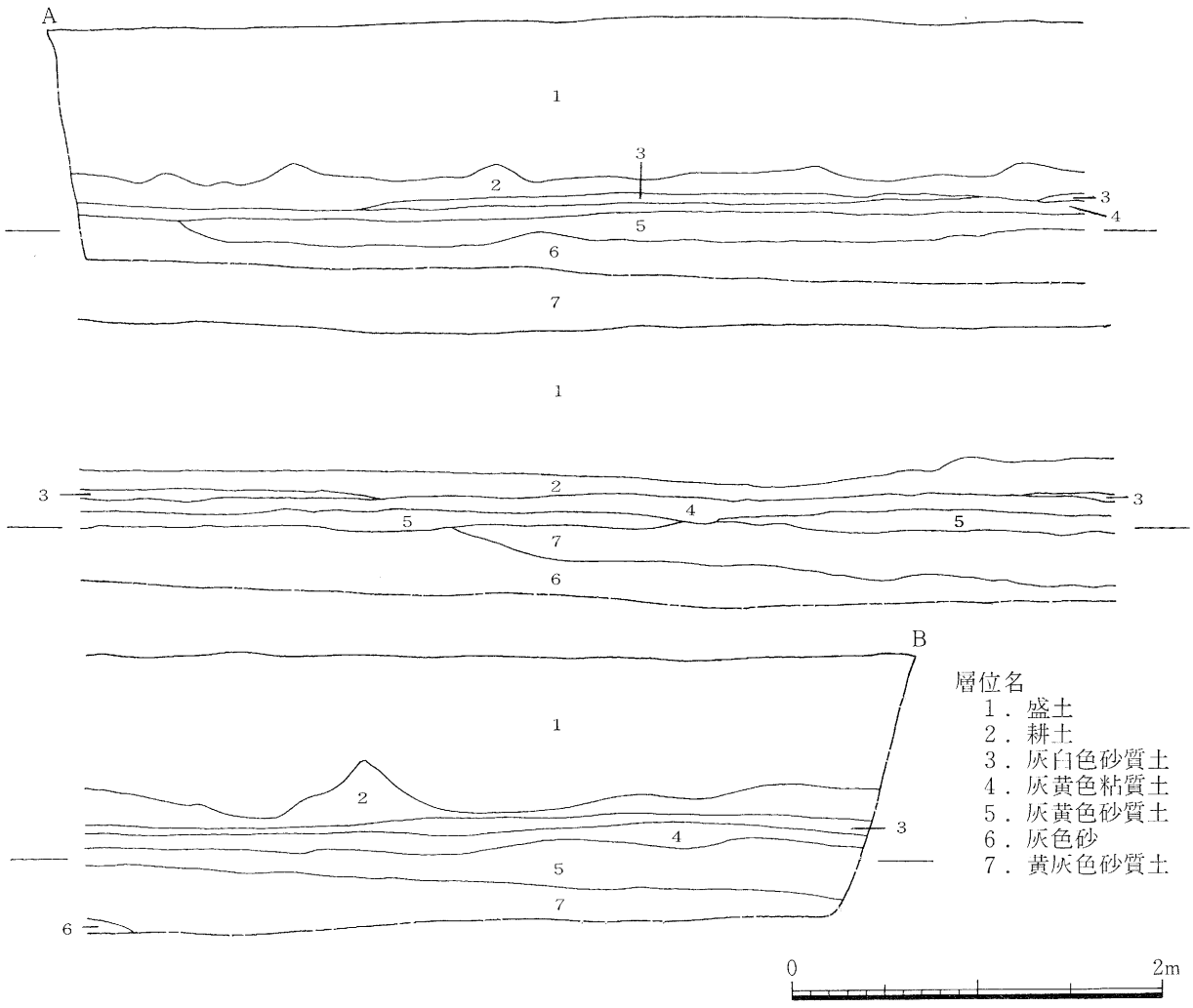
第８図　豊中遺跡　第１地点　掘削位置図

たため、工事に先立って発掘調査を実施した。

敷地の南隅に、重機で幅1.1m、長さ15.7mの調査坑を設定し、深さ1.3～1.5mまで掘削を行った。その後、人力により壁面及び床面・床面観察を中心とする調査を実施した。

調査坑の順序は上部より、盛土（1層・90cm）、耕土（2層・8～20cm）、耕土が変化した灰白色粘砂質土（3層・5cm）が部分的に堆積する。続いて、灰黄色粘質土（4層・10～13cm）が堆積し、その下層の灰黄色砂質土（5層・5～27cm）、は東に行くに従って厚くなる。その下層は、調査坑中程より東側で、黄灰色砂質土（7層・30cm以上）がレベルを下げながら徐々に厚くなり、西側部分では灰黄色砂質土（5層）の下にみられた灰色砂（6層・35cm以上）が黄灰色砂質土（7層）の下にもぐっていく。全体的に西側に砂が多くみられる。

遺構・遺物は検出できなかった。断面図の作成及び写真撮影を行い調査を終了した。



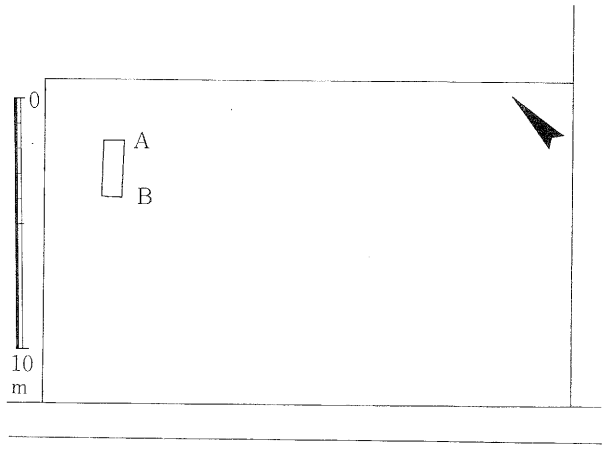
第9図　豊中遺跡　第1地点　北壁断面図

第２地点　豊中町2丁目953－9（調査番号　9509）

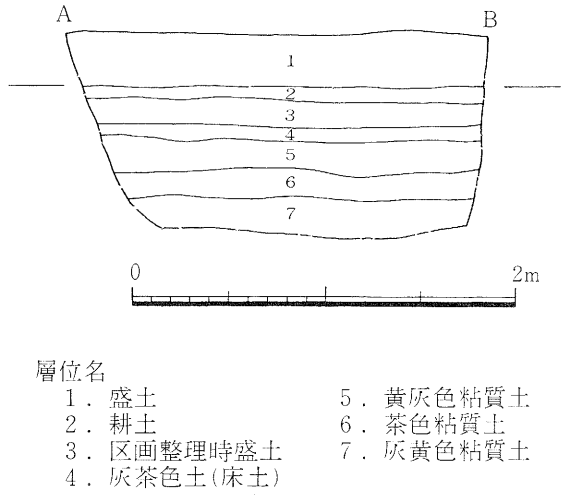
当該地は遺跡の西端に位置する。鉄骨2階建て個人住宅建設が予定されたため、工事に先立って、発掘調査を実施した。

敷地の北隅に幅0.8ｍ、長さ2.2ｍの規模の調査坑を設定し、重機で掘削を行う。深さは約1.1ｍまで掘削する。その後、人力で壁面･床面を削平し、断面･床面観察を中心とした調査を実施する。層順は上部から、盛土（１層・27cm）、耕土（２層・８cm）、土地区画整理時盛土（３層・15cm）、床土である灰茶色土（４層・５cm）、黄灰色粘質土（５層・15cm）、茶色粘質土（６層・15cm）、灰黄色粘質土（7層・20cm以上）とほぼ水平な堆積が認められる。６層の茶色粘質土から７層の灰黄色粘質土へは土色が漸移的に変化している。

遺構･遺物は検出できなかったため、断面図及び写真撮影を行って、調査を終了した。



第10図　豊中遺跡　第２地点　掘削位置図



第11図　豊中遺跡　第２地点　東壁断面図

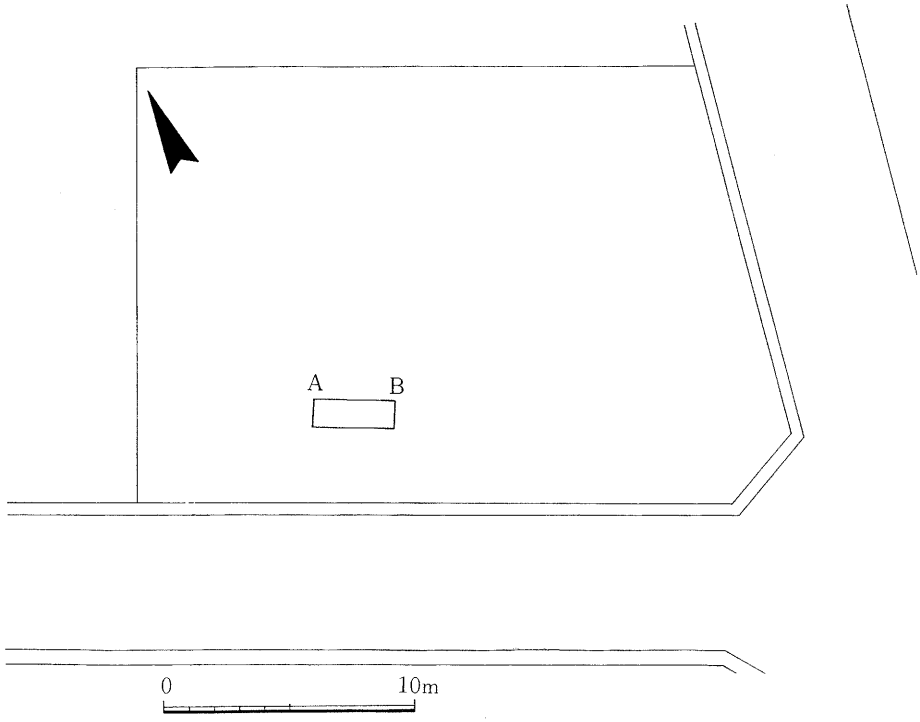
第３地点　北豊中町２丁目985－3（調査番号 9506）

当該地は遺跡の中央部よりやや北西部、国道26号線の西側約50ｍに位置する。鉄骨２階建て単身者寮の建設が予定されたため、工事に先立って発掘調査を実施した。

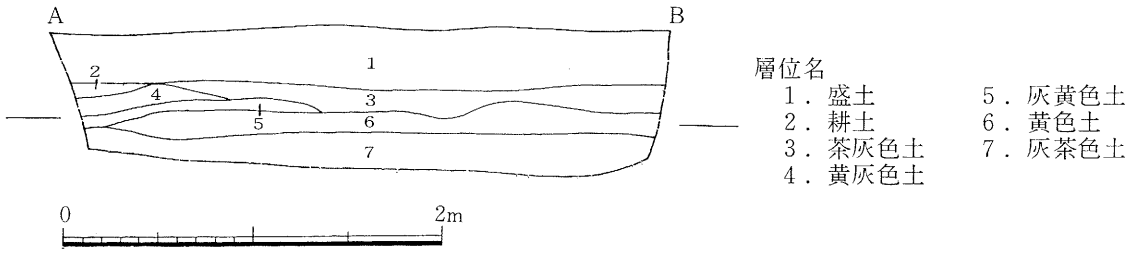
敷地の西隅に、幅１ｍ、長さ3.2ｍの規模の調査坑を設定し、重機で約75cmの深さまで掘削を行った。その後、人力により壁面及び床面を削平し、土層断面と床面を中心に観察を行った。

調査坑の層序は上部より、まず盛土（１層・25～30cm）がみられ、西隅では盛土の下層に、耕土（２層・７cm）、黄灰色土（４層・10cm）、灰黄色土（５層・５cm）がみられる。これらの３層を切るようにして、中央部から東方向で茶灰色土（３層・最大厚15cm）が堆積している。この下層は黄色土（６層・最大厚16cm）、灰茶色土（７層・23cm以上）となる。黄灰色土（４層）及び灰黄色土（５層）は遺物包含層で、４層から瓦片、５層から土師器片がそれぞれ検出されたが、いずれも細片で図示し得ない。遺構は検出されなかったため、断面図作成と写真撮影を行い、

調査を終了した。



第12図　豊中遺跡　第３地点　掘削位置図



第13図　豊中遺跡　第３地点　北壁断面図

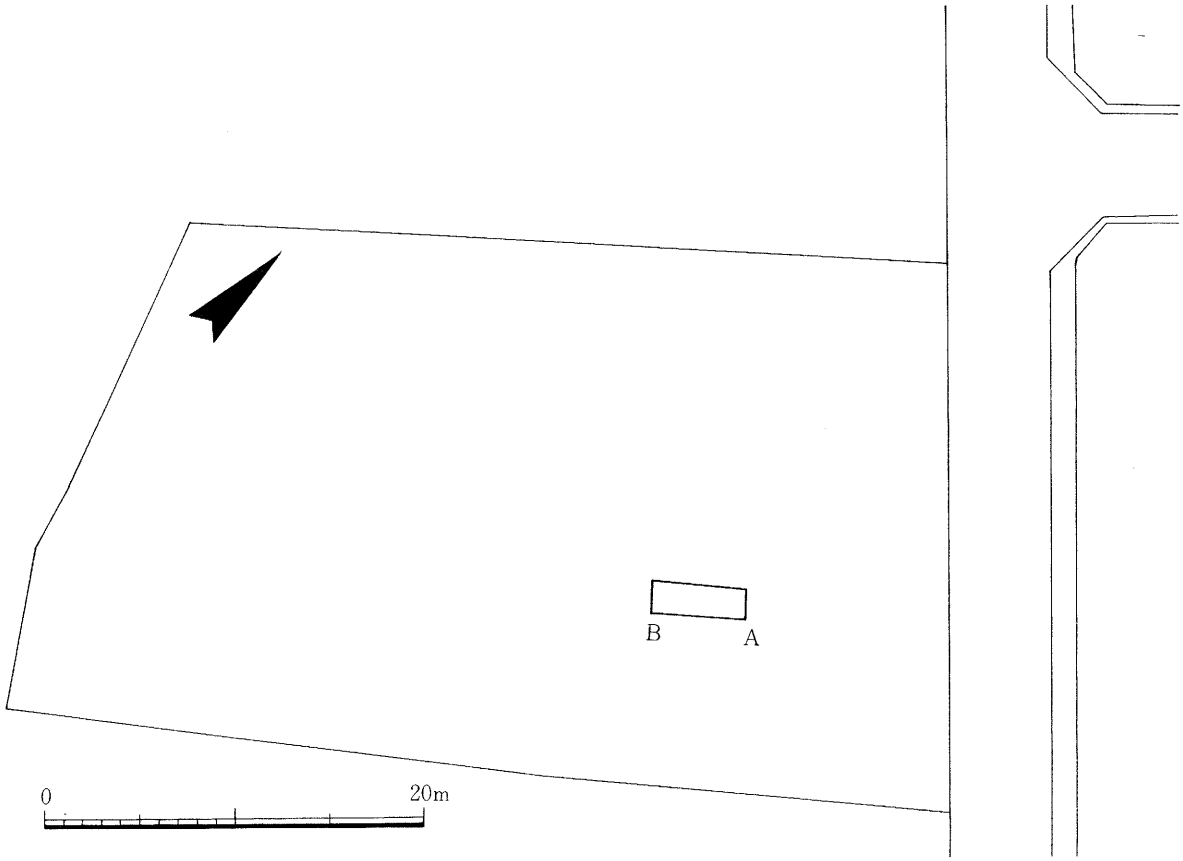
第４地点　豊中町2丁目284－1、285－1、－3（調査番号 9510）

当該地は遺跡の西端に位置し、第２地点と道路を挟んでその南側に位置する。当該地で賃貸共同住宅が予定されたため、これに先立ち調査を実施した。

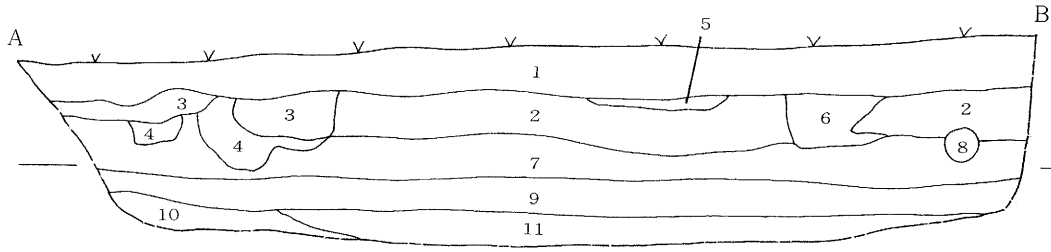
まず敷地の中央部よりやや東側に幅1.3m、長さ5.4mの調査坑を設定し、重機で深さ約１mまで掘削を行う。続いて人力で壁面を削平し、土層断面及び床面の観察を実施した。

基本的な層序は、上部から、耕土（１層・15～30cm）、帯灰色黄色土（２層・20～26cm）、帯灰色黄色砂質土（７層・10～25cm）、帯灰色黄色粘質土（９層・10～20cm）、黄灰色粘質土（11層・17cm以上）となり、調査坑の中央部分でみられる。北側部分は耕土の下層に灰色砂（３層・最大厚20cm）、その下層に帯黄色灰色粘質土（４層・）が攪乱でみられる。この層はわずかに土師器を含む。以下、帯灰色黄色砂質土（７層）、帯灰色黄色粘質土（９層）と続き、灰色粘質土（10層）

に至る。南側部分は耕土の下層に灰色粘砂土（６層）、が一部分みられる。また、帯灰色黄色土（２層）と帯灰色黄色粘質土（７層）の間に炭混じり帯黄色灰色土（８層）みられる。帯灰色黄色粘質土（７層）は帯灰色黄色粘質土（９層）に漸移的に変化している。遺構及び遺物は検出されなかった。断面の実測と写真撮影を行い調査を終了した。



第14図　豊中遺跡　第４地点　掘削位置図



層位名

１．耕土	７．帯灰色黄色砂質土
２．帯灰色黄色土	８．炭混り帯黄色灰色土
３．灰色砂	９．帯灰色黄色粘質土
４．帯黄色灰色粘質土(撹乱)	10．灰色粘質土
５．灰色砂質土	11．黄灰色粘質土
６．灰色粘砂土	

第15図　豊中遺跡　第４地点　南壁断面図

3．虫取遺跡

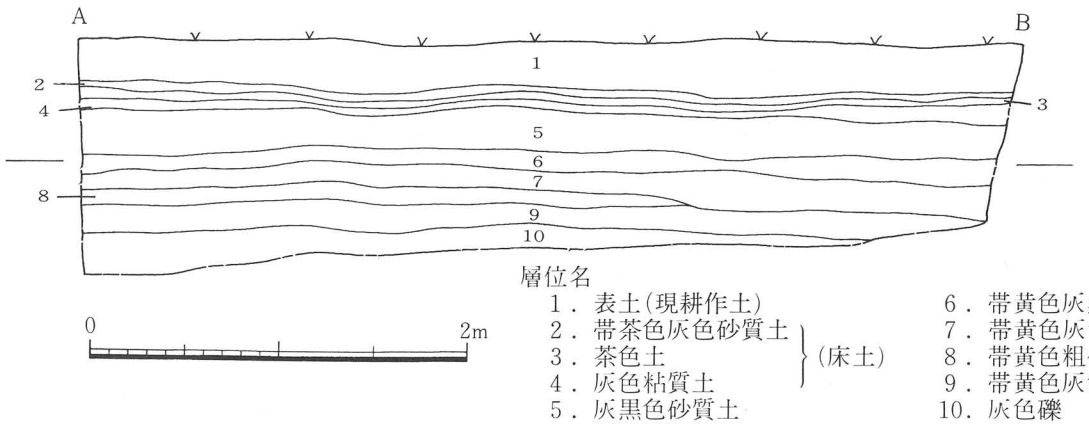
第16図　虫取遺跡調査地点図　（1：5,000）

調査地点　池浦町1丁目27－1　（調査番号 9512）

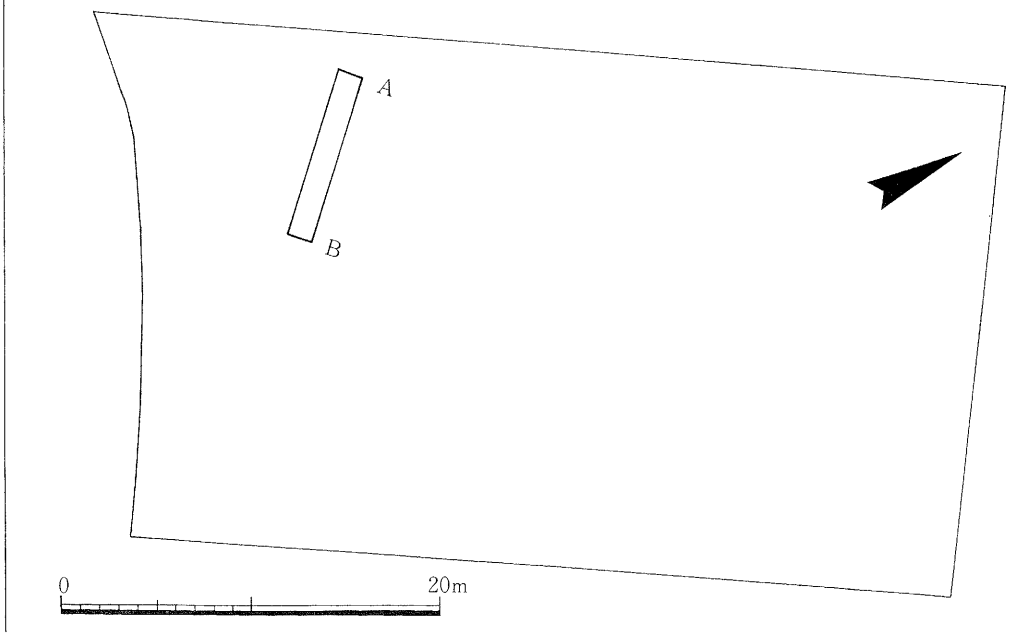
本遺跡は、市の南西部に所在し市立南公民館を中心に東西750m、南北850mの規模をもつ。今年度は本遺跡内で1箇所の調査を実施した。

当該地は、遺跡の最も北端に位置する。共同住宅建設が予定されたため、工事着工に先立って、発掘調査を実施した。

まず敷地の中央よりやや西側に幅1.2m、長さ5.0mの規模の調査坑を設定し、重機で深さ1.2mまで掘削を行う。続いて、人力で壁面及び床面を削平し、断面・床面を中心に観察を行う。



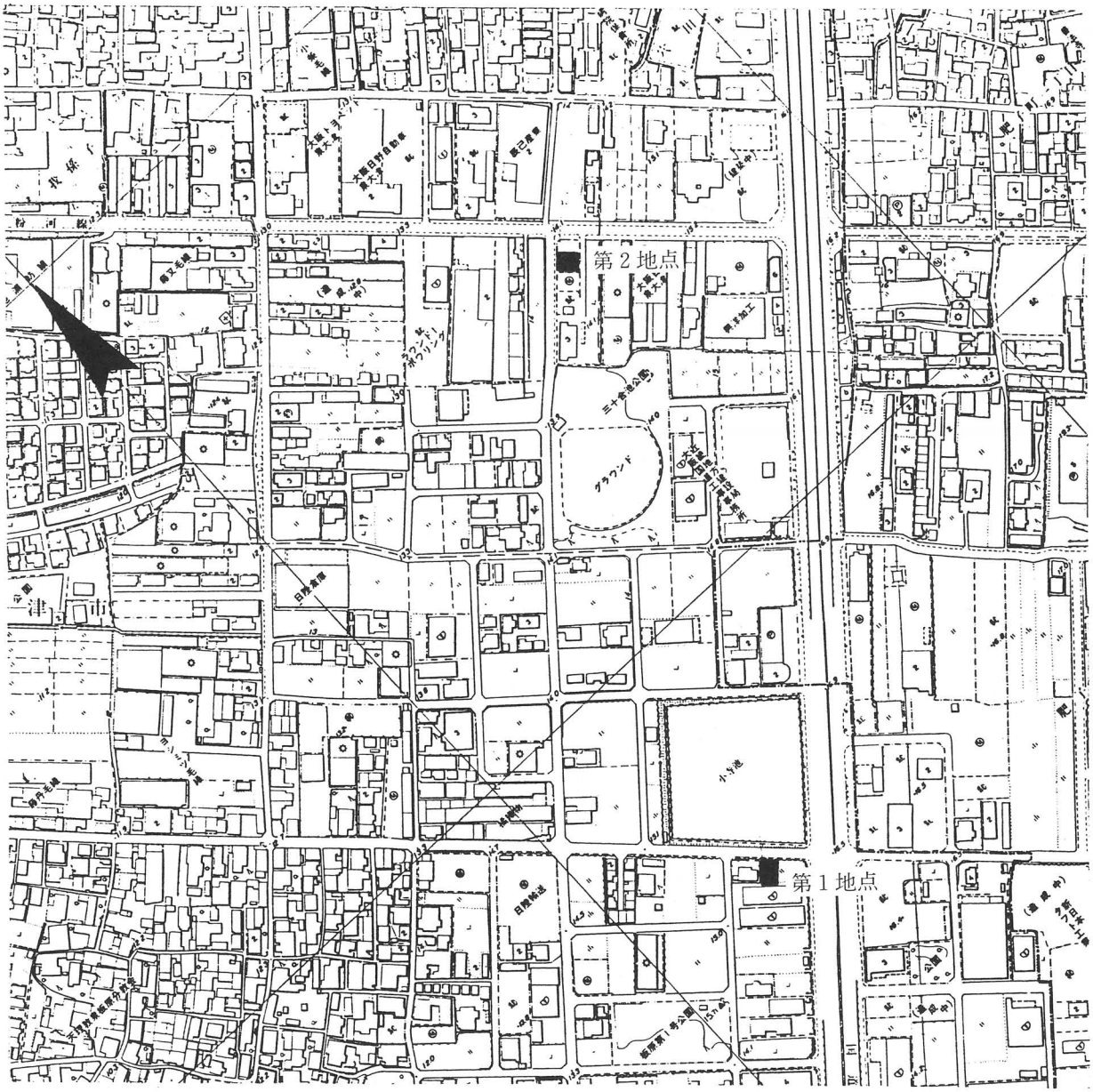
第17図　虫取遺跡　調査地　北壁断面図



第18図　虫取遺跡　調査地　掘削位置図

層序は上部から、現在の耕作土である表土（1層・22cm）の下層は床土へと続くが、床土は3層に分層できる。帯茶色灰色砂質土（2層）、茶色土（3層）、灰色粘質土（4層）でそれぞれ約4cmの厚さで堆積がみられる。続いて、灰黒色砂質土（5層・25cm）、帯黄色灰黒色砂質土（6層・4～10cm）、帯黄色灰色粘質土（7層・10～20cm）、帯黄色粗砂質土（8層・最大厚12cm）、帯黄色灰色粘質土（9層・10～15cm）と堆積がみられ灰色礫（10層）に至る。6～9層はいずれも黄色味を帯びた土色で、堆積はほぼ水平である。帯黄色粗砂質土（8層）は調査坑中央部で消滅している。灰色礫（10層）は直径約5cm程度の円礫を多く含み、湧水が激しくみられた。遺構・遺物は検出されなかった。調査坑の断面図作成と写真撮影を行い、調査を終了した。

4．板原遺跡



第19図　板原遺跡調査地点図（1：5,000）

第１地点　板原1236（調査番号　9503）

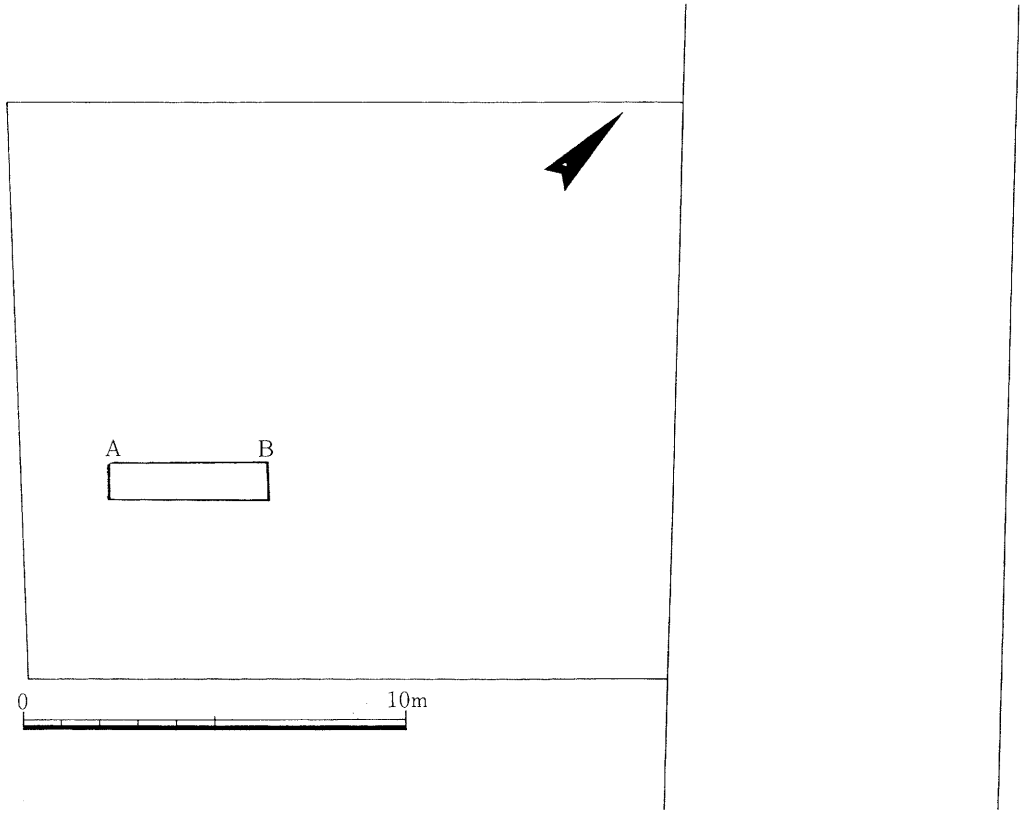
本遺跡は、泉大津市の南部に所在し、直径約650ｍのほぼ円形の範囲を有するが、東半分は和泉市域に属する。中心部は国道26号線が貫通している。昨年度の追加分1箇所と本年度１箇所の発掘調査を実施し、報告するものである。

当該地は遺跡の中央部よりやや南に位置し、東側で国道26号線、北側では小寺池にそれぞれ隣接している。自動車展示場建設が予定されたため、工事着工に先立って調査を実施した。調査は、昨年度の２月に実施したが、追加分として報告するものである。

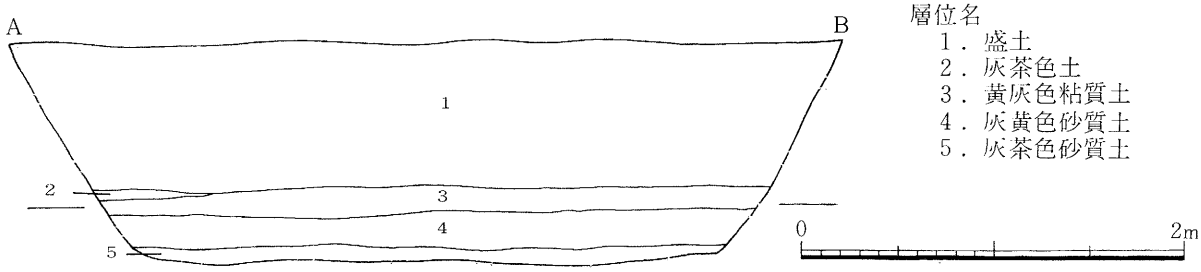
まず敷地の中央よりやや東に幅１ｍ、長さ4.4ｍの規模の調査坑を設定した。次に重機で、深

さ約１ｍまで掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削平し、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は、上部から盛土（１層・75cm）の下層に、西側部分のみわずかに灰茶色土（２層・５cm）がみられる。西側部分以外は、盛土（１層）以下、黄灰色粘質土（３層・12～15cm）、灰黄色砂質土（４層・14～20cm）と続き、灰茶色砂質土（５層～10cm以上）に至る。いずれもほぼ水平な堆積が認められる。灰黄色砂質土（４層）から灰茶色砂質土（５層）へは漸移的に変化している。遺構及び遺物は検出されなかった。断面図の作成と写真撮影を行い、調査を終了した。



第20図　板原遺跡　第１地点　掘削位置図



第21図　板原遺跡　第１地点　北壁断面図

第２地点　我孫子94－1の一部（調査番号 9601）

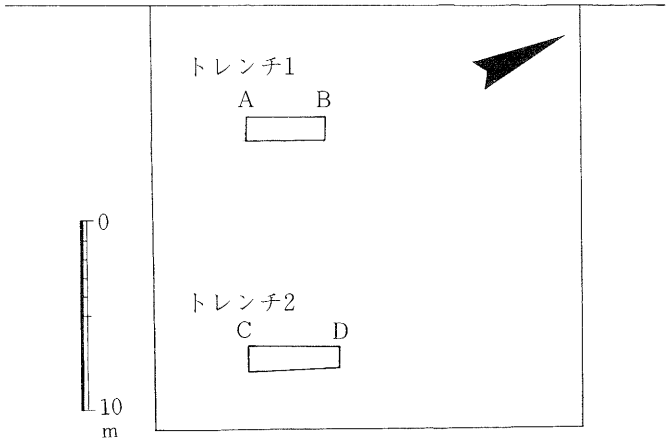
当該地は遺跡の最北端に位置し、北側で泉大津粉河線と接している。約60ｍ南側には三十合池公園が所在する。当該地で店舗付き共同住宅の建設が予定されたため、工事着工に先立って、調査を実施した。

敷地の北西に幅1.2m、長さ4.2mの規模の調査坑を設定し、重機で深さ1.3mまで掘削を行う。重機で掘削後、人力で壁面及び床面を削平し、断面、床面観察を中心に調査を行った。

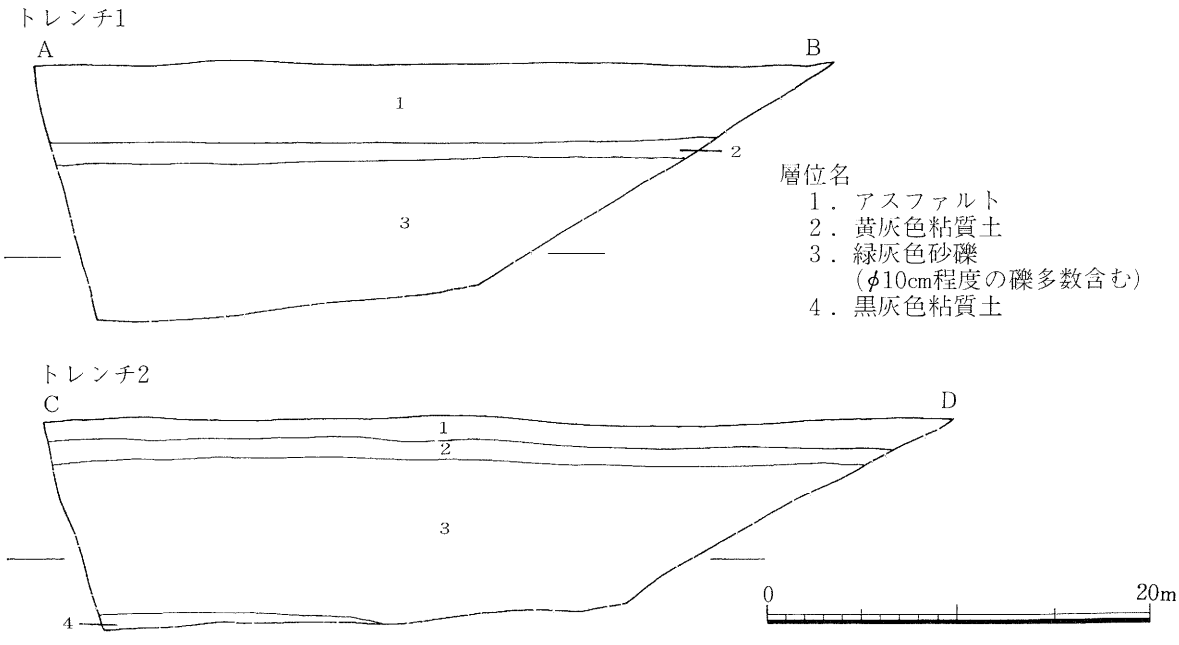
層序は上部から、現地表面のアスファルト（1層・40cm）、黄灰色粘質土（2層・10cm）、緑灰色砂礫（3層・80cm以上）の堆積がみられる。この調査坑をトレンチ1として、続いてこのトレンチの約12m東側に、幅1.2m、長さ4.8mの規模の調査坑を設定し、これをトレンチ2とする。トレンチ2もトレンチ1と同じく、まず重機で掘削を行った後、人力での削平を行った。

トレンチ2の層序は、アスファルト（1層・10cm）、黄灰色粘質土（2層・10cm）、緑灰色砂礫（3層・80cm以上）と、トレンチ1と同様の土層がみられ、最下層に黒灰色粘質土（4層）が認められる。遺構・遺物は検出されなかった。断面図の作成及び写真撮影を行って、調査を終了した。

当該地の隣接地では当該地の現状地表面より約60cm下がったところで耕作面となっている。当初は当該地もアスファルト（1層）下層は耕作土を予想していたが全く見当たらなかった。当該地は調査前までは駐車場として利用されていたが、それ以前に何らかの人為的な改良がなされていたと考えられる。

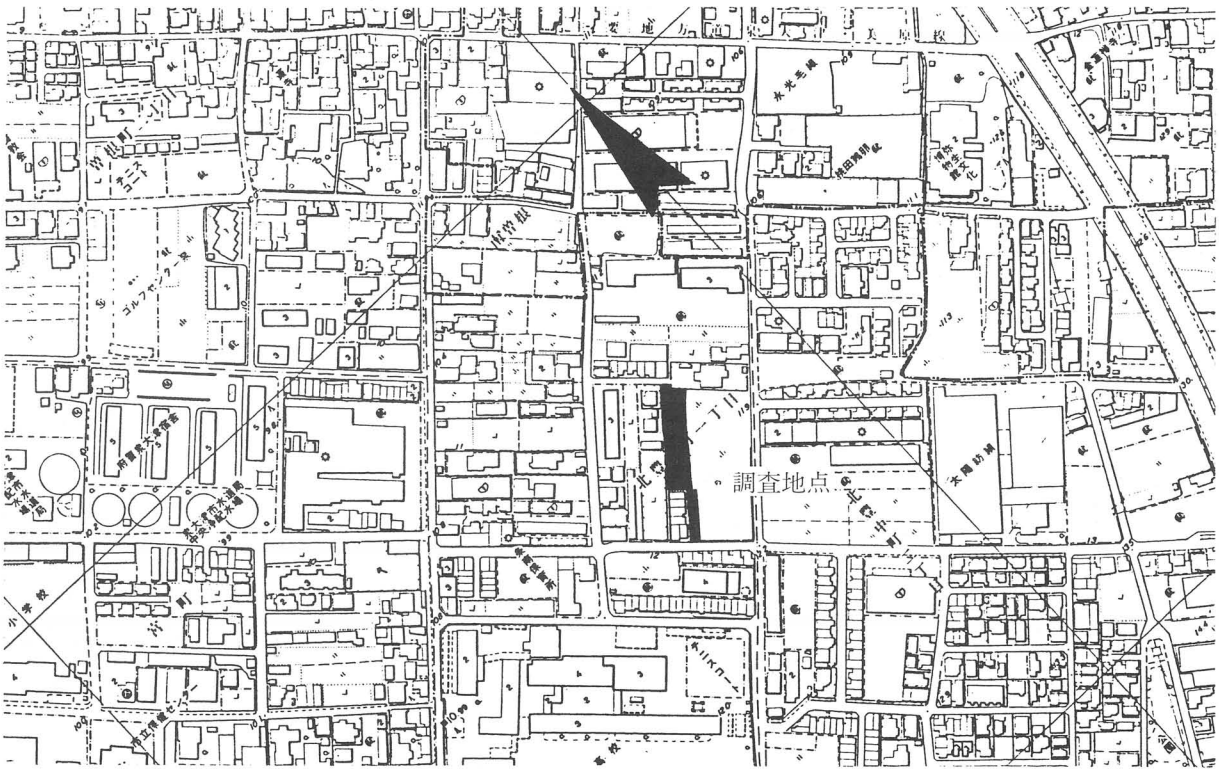


第22図　板原遺跡　第2地点　掘削位置図



第23図　板原遺跡　第2地点　北壁断面図

5．七ノ坪遺跡



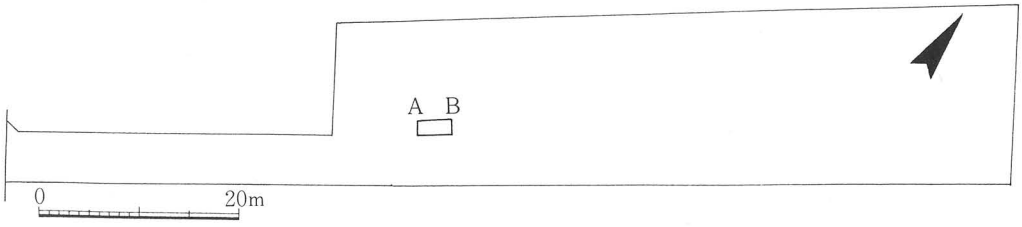
第24図　七ノ坪遺跡調査地点図（1：5,000）

調査地点　北豊中町１丁目540－1、541　（調査番号 9508）

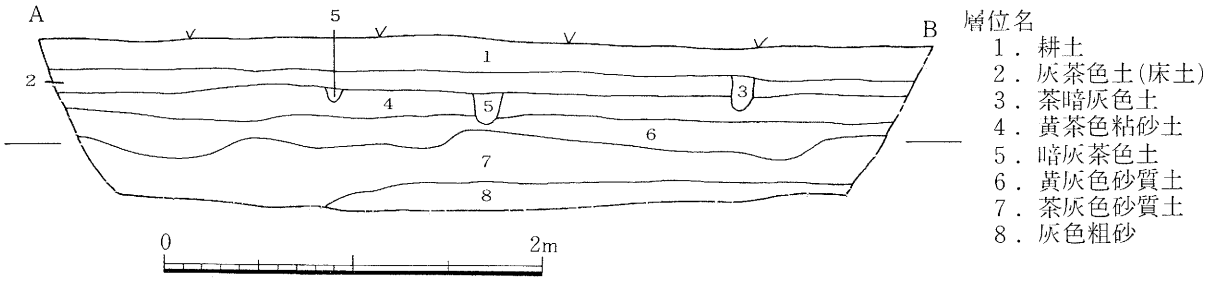
本遺跡は、市の東部に所在し、南北約300ｍ、東西約350ｍの範囲を有する。南東部で豊中遺跡に、北部では池上曽根遺跡に接する。本年度は、遺跡内で１箇所の発掘調査を実施し、報告するものである。

当該地は、遺跡の中央部分の北側に位置する。共同住宅の建設が予定されたため、工事着工に先立って調査を実施した。

敷地は南北方向に細長く、前面道路から約35ｍまでは幅５ｍと狭い。この部分は通路として利用し、建物が建つのはその奥の部分である。また、現地表面に約100㎝の盛土をし、建物の基礎は、その中におさまるので、建物建設予定部分を避けて、浄化槽の位置を掘削箇所とする。前面道路から約45ｍの位置である。



第25図　七ノ坪遺跡　調査地　掘削位置図



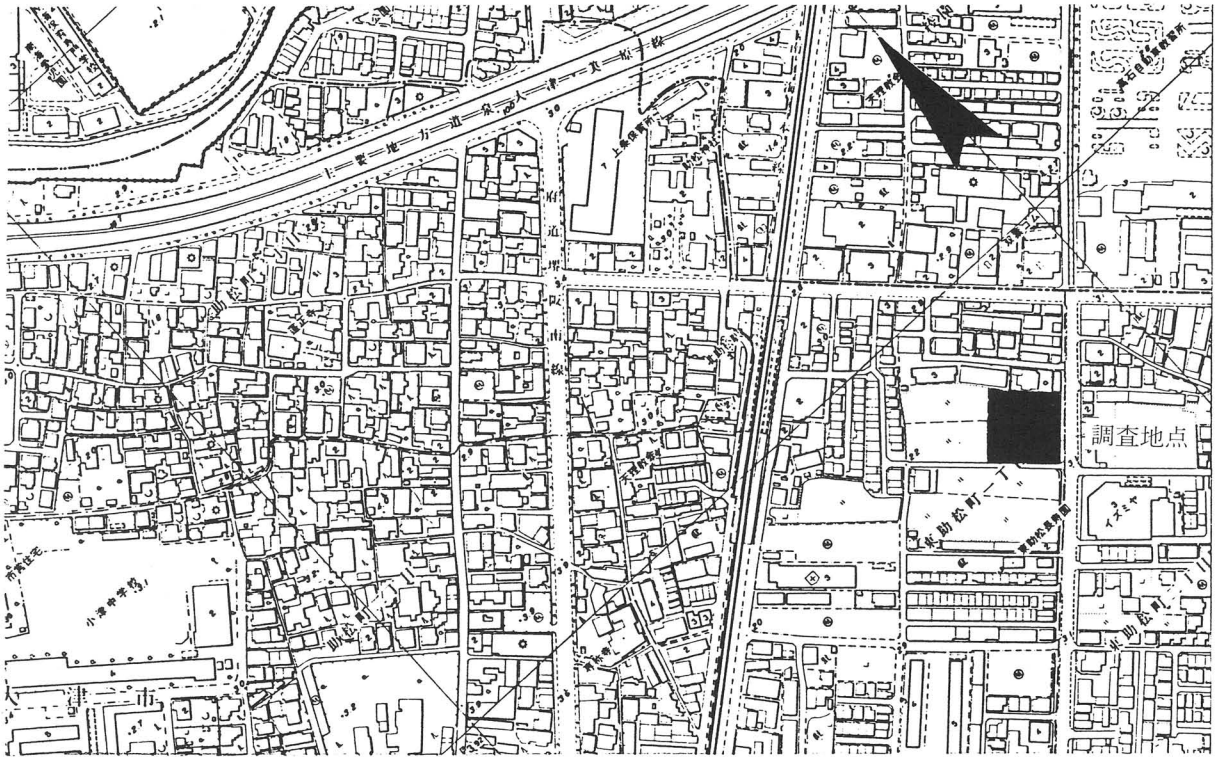
第26図　七ノ坪遺跡　調査地　北壁断面図

まず、幅1.1ｍ、長さ4.7ｍの規模の調査坑を設定し、重機で深さ90㎝まで掘削を行う。続いて、人力で壁面を削り、土層断面の観察を実施した。

基本的な層序は、上部から耕土（１層・15～18㎝）、床土の灰茶色土（２層・８～12㎝）、黄茶色粘砂土（４層・10～15㎝）、黄灰色砂質土（６層・７～20㎝）、茶灰色砂質土（７層・11～35㎝以上）と堆積がみられ、北側では茶灰色砂質土（７層）の下に灰色粗砂（８層）が15㎝以上堆積していた。また、床土上面から茶暗灰色土（３層）、黄灰色粘砂土（４層）上面からは暗灰茶色土（５層）のピット様の変化がみられた。黄灰色砂質土（６層））から茶灰色砂質土（７層）へは漸移的に変化し、分層は困難であった。

遺物は検出されなかったので、土層断面図の作成と写真撮影を行い、調査を終了した。

6．森 遺 跡

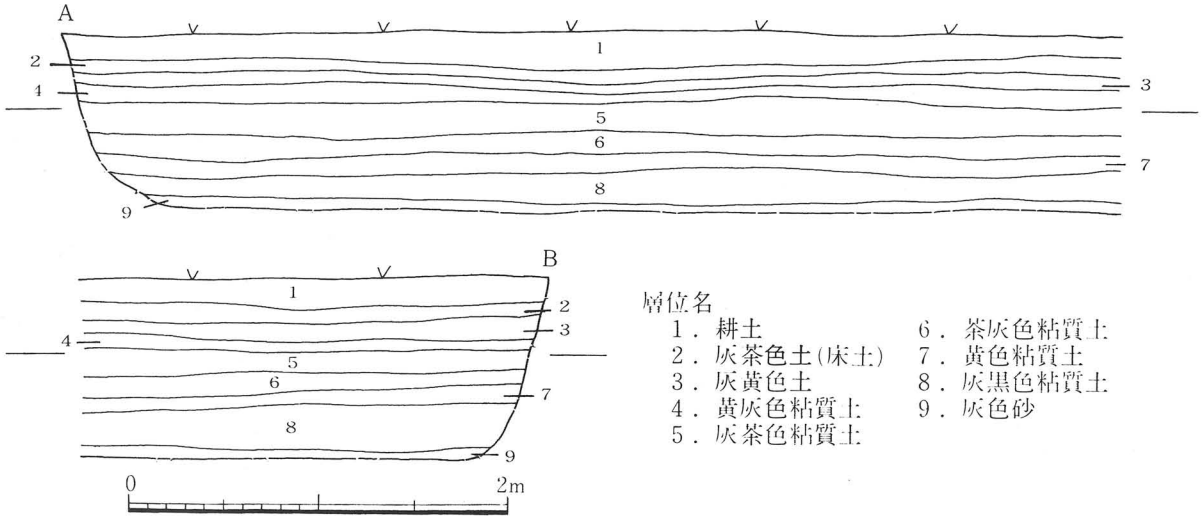


第27図　森遺跡調査地点図（1：5,000）

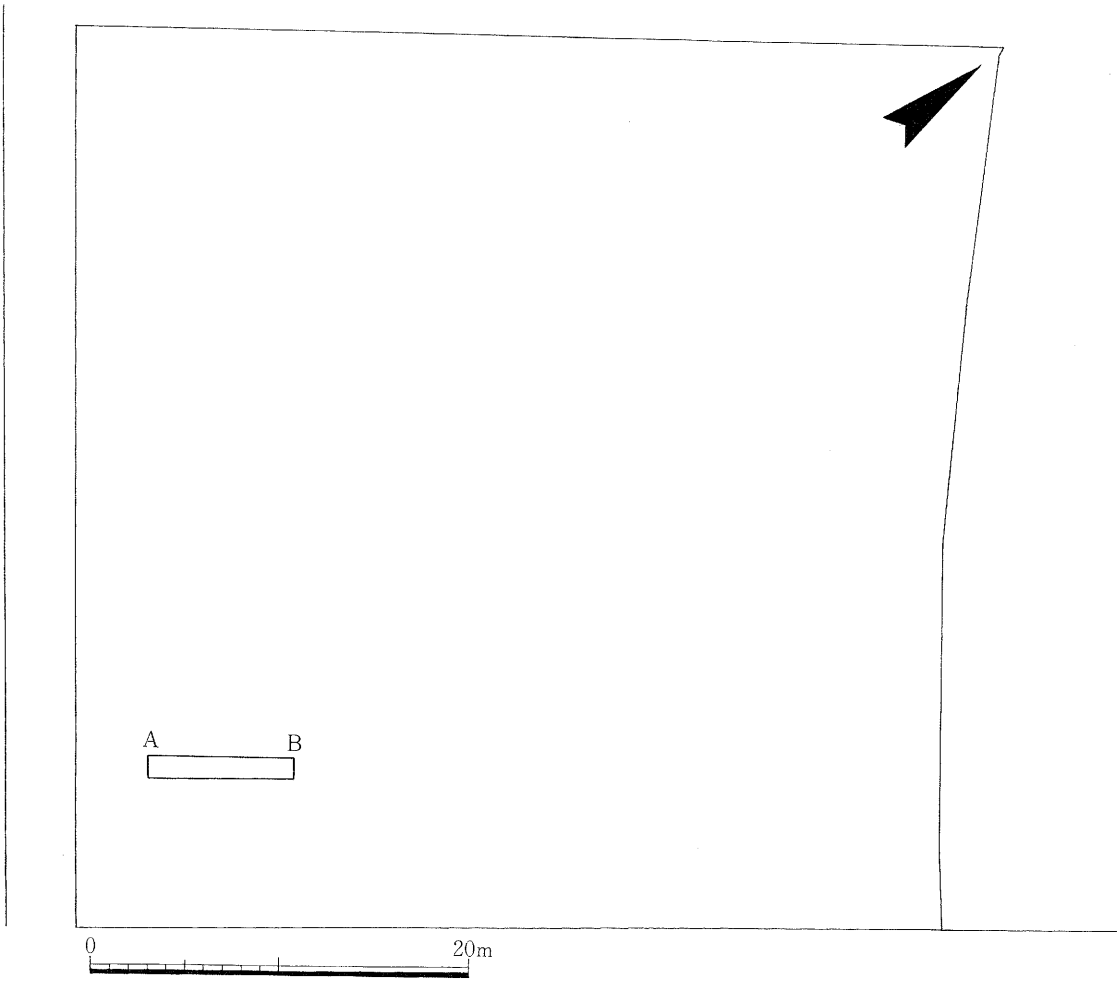
調査地点　東助松1丁目421－1、422（調査番号 9502）

本遺跡は、市域の最北端に位置し、直径約150ｍのほぼ円形の範囲を有する。当該地は南海線北助松駅より東へ約150ｍに所在し、敷地面積約2,250㎡を有する。本遺跡東南部分の約４分の１を占めている。共同住宅建設が予定されたため、工事着工に先立って、発掘調査を実施した。なお、調査は昨年度の２月に実施したが、追加分として報告するものである。

敷地の南隅に、幅1.1ｍ、長さ8.1ｍの規模の調査坑を設定し、重機で約１ｍの深さまで掘削を



第28図　森遺跡　調査地　北壁断面図

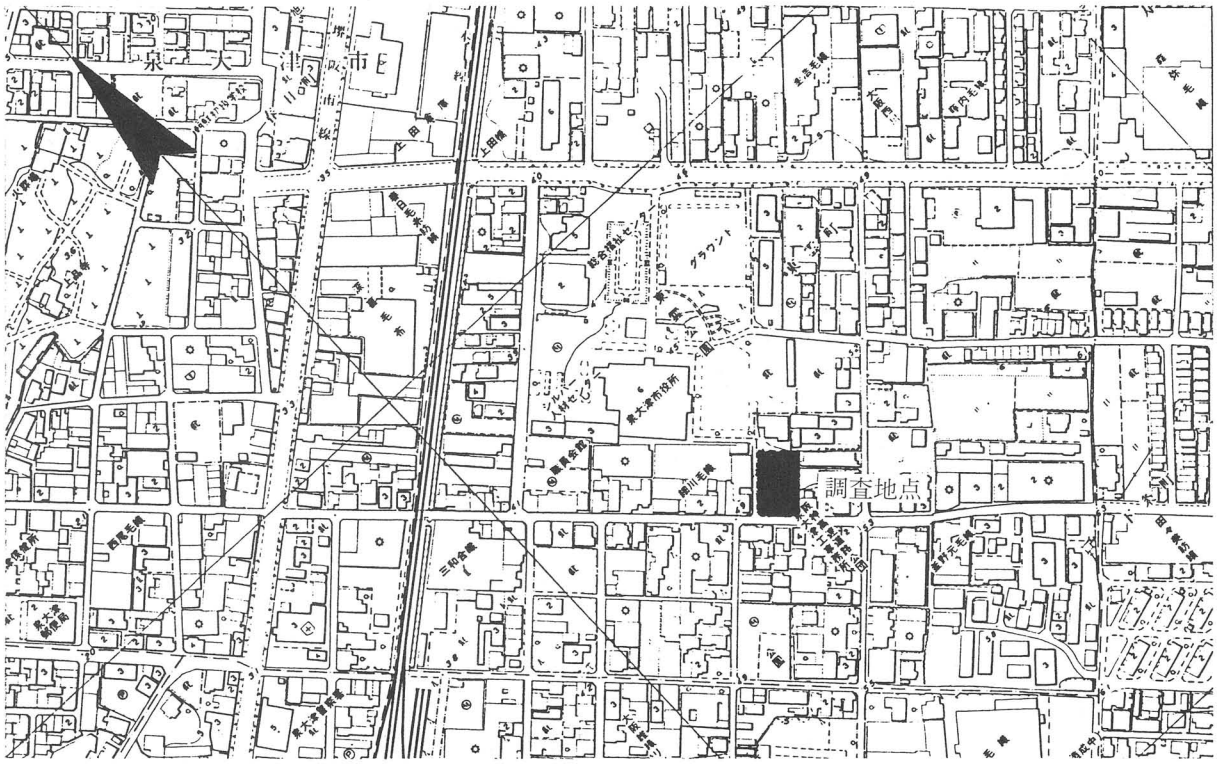


第29図　森遺跡　調査地　掘削位置図

行った。続いて、人力で壁面及び床面を削平し、断面・床面観察を実施した。

調査坑の層序は上部から耕土（1層・15～20cm）、床土の灰茶色土（2層・5cm）、灰黄色土（3層・6cm）、黄灰色粘質土（4層・5～11cm）灰茶色粘質土（5層・11～20cm）、茶灰色粘質土（6層・5～14cm）、黄色粘質土（7層・6～12cm）、灰黒色粘質土（8層・10～25cm）と続き、灰色砂（9層・5cm以上）と堆積がみられる。遺構及び遺物は検出されなかったため、写真撮影と断面図を作成して、調査を終了した。

7．東雲遺跡

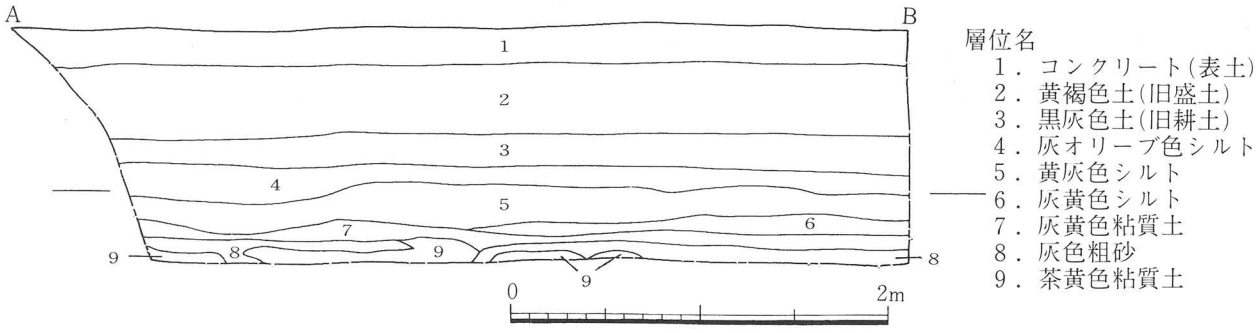


第30図　東雲遺跡調査地点図（1：5,000）

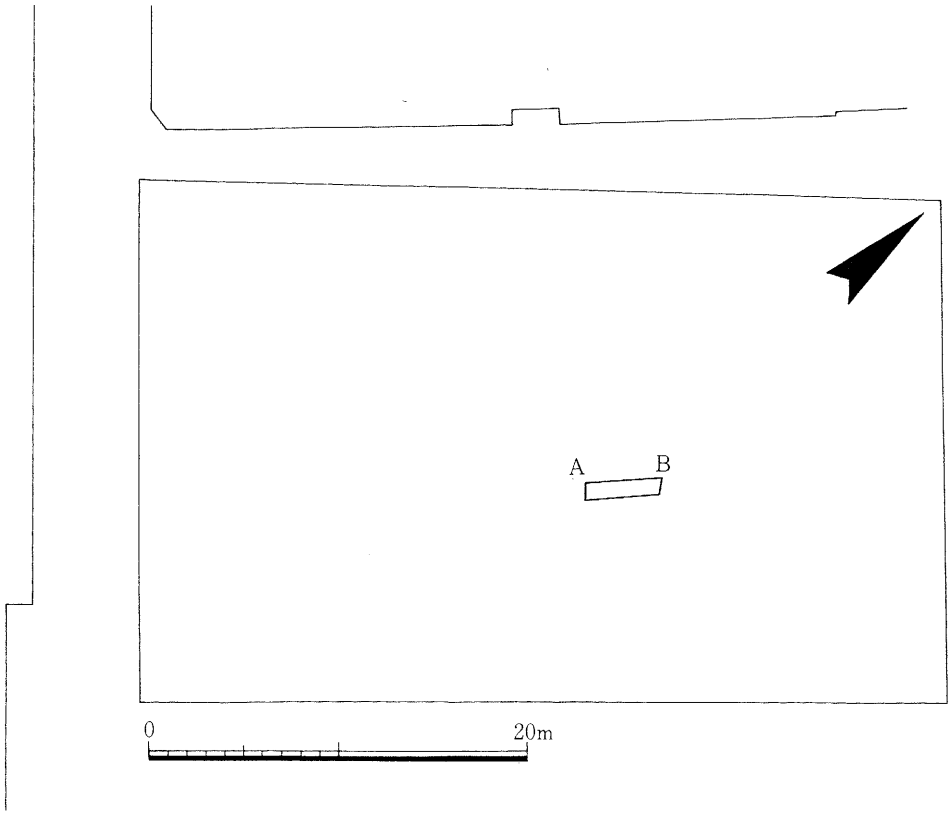
調査地点　東雲町80－3、81－2、85－2、86－1（調査番号 9602）

本遺跡は直径約350ｍのほぼ円形の範囲を有する。南海線泉大津駅から東へ約20ｍの位置に所在する。当該地は遺跡の北端に位置する。従来は、青空駐車場として使用されていたが、独身者寮の建設が予定されたため、工事着工に先立って発掘調査を実施した。

まず敷地のほぼ中央部に、幅1.2ｍ、長さ４ｍの規模の調査坑を設定し、重機で深さ1.3ｍまで掘削を行う。その後、人力で壁面及び床面を削平し、土層断面観察を中心とした調査を実施した。まず表土のコンクリート（１層・14㎝）と旧盛土の黄褐色土（２層・35㎝）を除去すると、旧耕土の黒灰色土（３層・14～20㎝）、灰オリーブ色シルト（４層・10～18㎝）、黄灰色シルト（５層・10～20㎝）の順でほぼ水平な堆積が認められる。黄灰色シルト（５層）の下層は、灰黄色粘質土



第31図　東雲遺跡　調査地　北壁断面図



第32図　東雲遺跡　調査地　掘削位置図

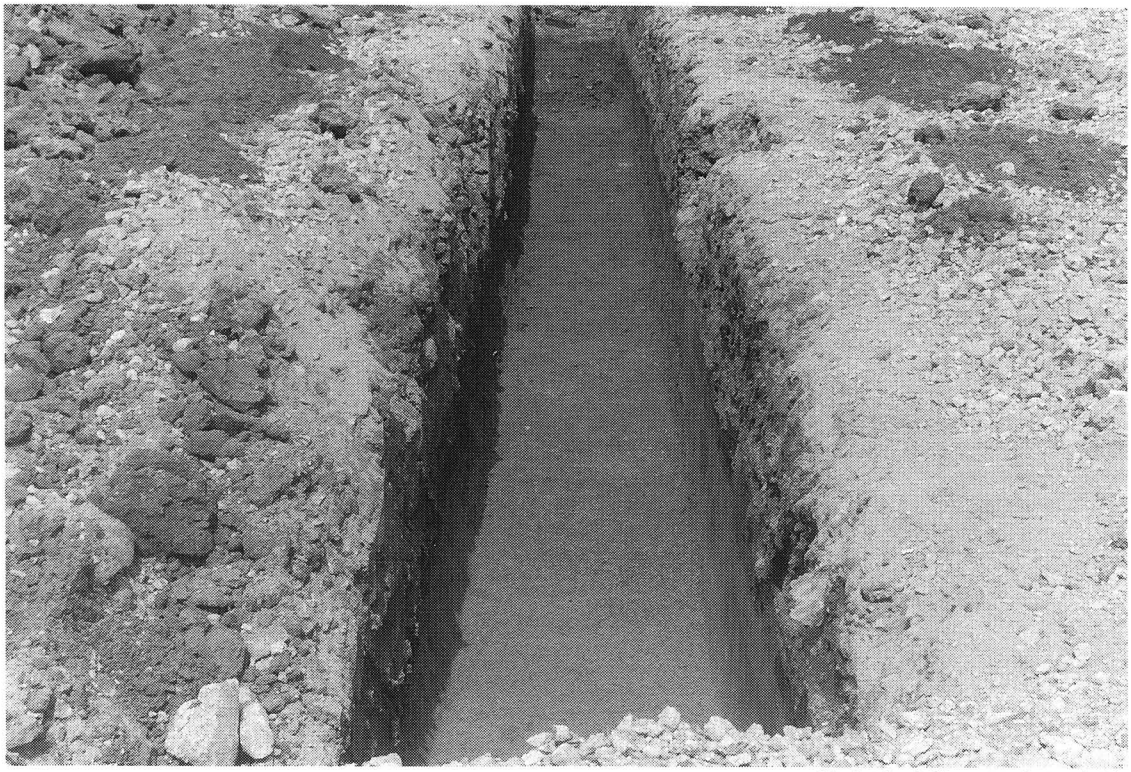
（7層・3～12cm）の下層に灰色粗砂（8層）がみられ、茶黄色粘質土（9層）に至る。調査坑の中央部分より東側では黄灰色シルト（5層）の下層に黄灰色シルト（6層・10cm）の堆積が認められる。コンクリート（1層）除去後に駐車場以前のものと思われる建物の基礎が一部認められたが、旧盛土（2層）内におさまっており、それ以下の層には及んでいなかった。遺物は旧耕土（3層）中に土師器・瓦器の細片がわずかに認められるのみで遺構は確認できなかった。写真撮影を行い、断面図を作成して調査を終了した。

図　　版

図版一

池上曽根遺跡第１地点調査坑

池上曽根遺跡第２地点調査坑



豊中遺跡第１地点調査坑

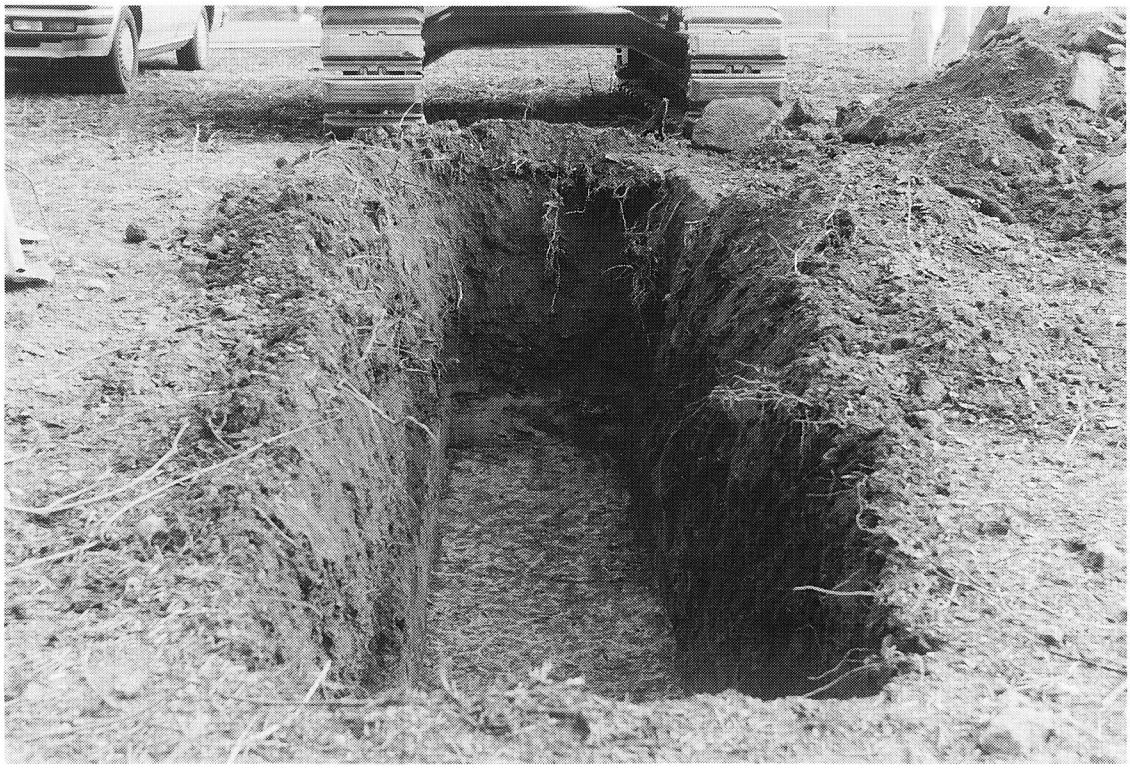
豊中遺跡第２地点調査坑

豊中遺跡第 3 地点調査坑

豊中遺跡第 4 地点調査坑

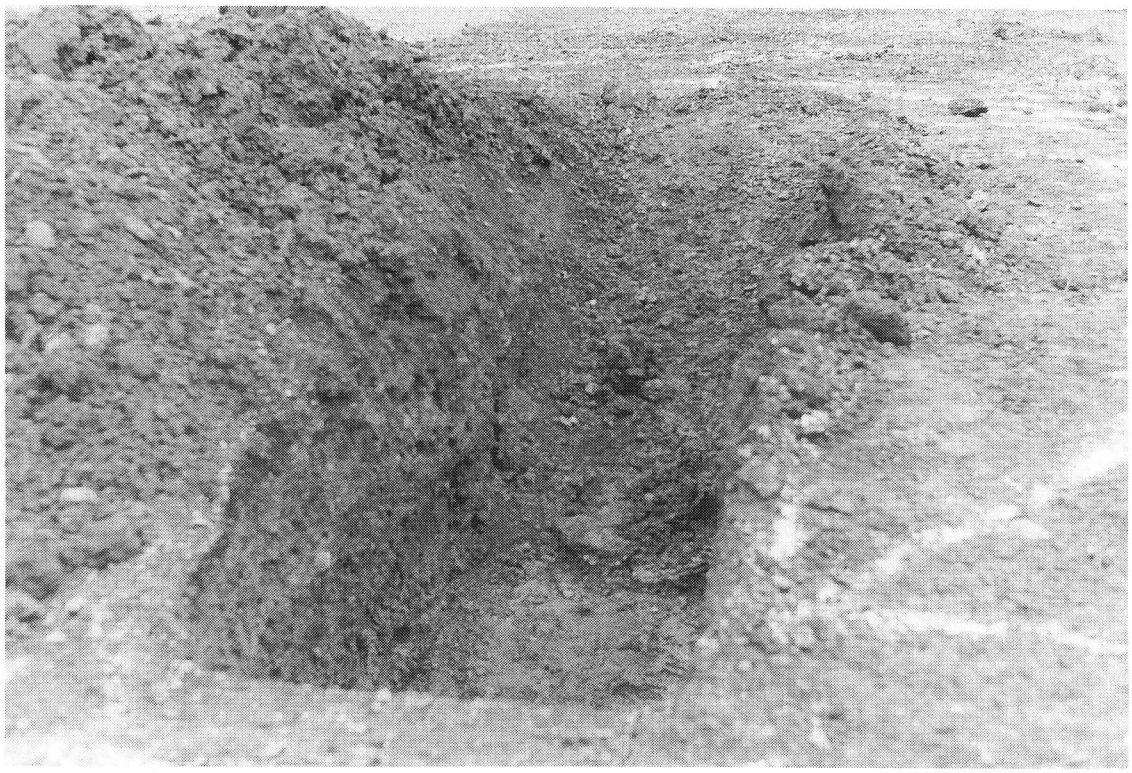
図版　四

虫取遺跡調査坑



板原遺跡第１地点調査坑

図版　五

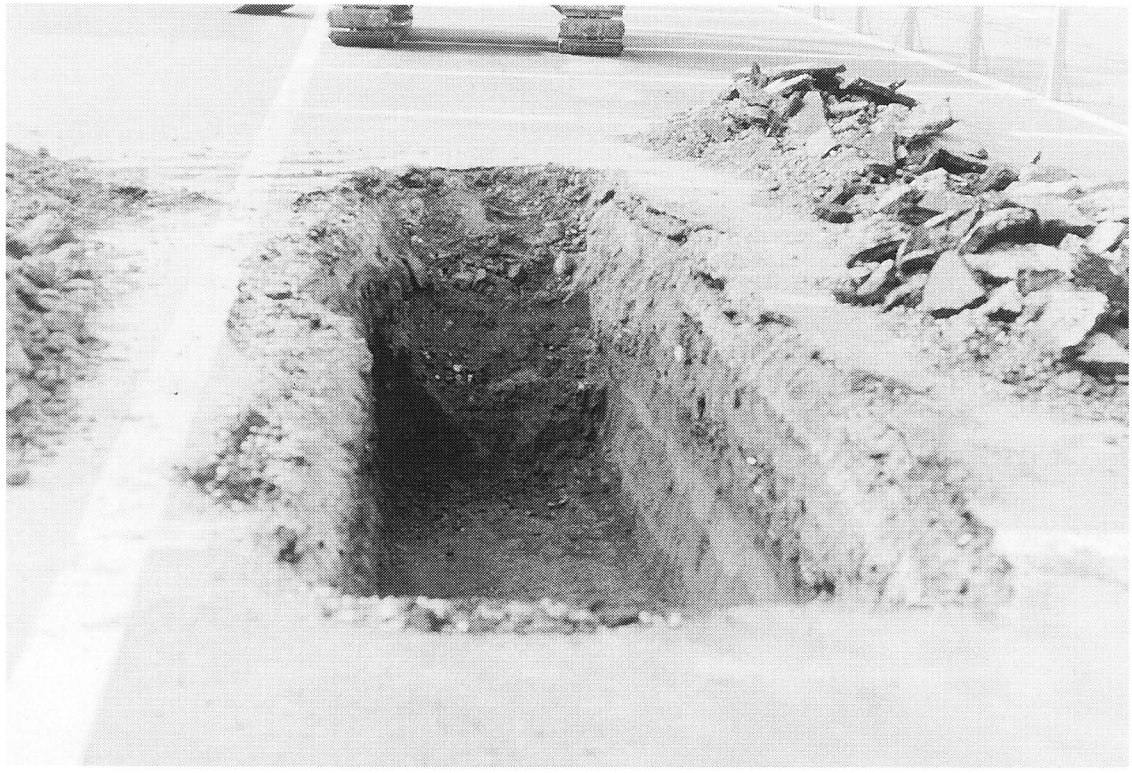


板原遺跡第２地点トレンチ２

七ノ坪遺跡調査坑

図版　六

森遺跡調査坑



東雲遺跡調査坑

報　告　書　抄　録　その1

ふりがな	いずみおおつしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報
副書名	
巻次	14
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告
シリーズ番号	28
編著者名	坂口昌男　虎間麻実
編集機関	泉大津市教育委員会
所在地	〒595 大阪府泉大津市東雲町9番12号　TEL 0725－33－1131
発行年月日	西暦 1996年3月22日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
池上曽根	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 そねちょう 曽根町1丁目43－2	272060		52度 27分 20秒	166度 09分 10秒	19950620	6.70	鉄骨2階建て個人住宅建設に伴う事前調査
	曽根町2丁目12の一部			52度 32分 50秒	166度 19分 15秒	19950906	2.86	鉄骨2階建て個人住宅建設に伴う事前調査
豊中	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 きたとよなかちょう 北豊中町2丁目351	272060		52度 28分 00秒	166度 53分 30秒	19950323	18.37	鉄筋コンクリート11階建て共同住宅建設に伴う事前調査
	とよなかちょう 豊中町2丁目953－9			52度 42分 10秒	167度 08分 20秒	19950425	1.76	鉄骨2階建て個人住宅建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
池上曽根	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序は茶灰色腐植土、黄灰色粘質土、紫灰色粘質土で、その下に灰茶色砂質土、灰色粘砂土、灰茶色砂が切りあって堆積する。
			遺構は検出されなかった	土師質土器・瓦　破片	層序は盛土、灰色粘砂土、耕土、灰茶色粘質土、礫混じり茶灰色粘質土、灰色砂礫となる。 茶灰色粘質土は遺物包含層
豊中	集落 社寺跡	縄文 古墳 平安 中世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序は盛土、耕土、灰黄色粘質土、黄灰色砂質土灰色砂が堆積する。
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序は盛土、耕土、旧盛土、灰茶色土、黄灰色粘質土、茶色粘質土、灰黄色粘質土が堆積する。

報告書抄録 その2

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
豊中	大阪府泉大津市 北豊中町2丁目 985－3	272060		52度 31分 15秒	167度 05分 00秒	19950523	3.20	鉄骨2階建て単身者寮建設に伴う事前調査
	豊中町2丁目284－1 285－1 －3			52度 40分 55秒	167度 11分 30秒	19951026	7.02	賃貸共同住宅建設に伴う事前調査
虫取	大阪府泉大津市 池浦町1丁目27－1	272060		53度 43分 55秒	166度 53分 35秒	19951116	6.00	鉄骨8階建て賃貸共同住宅建設に伴う事前調査
板原	大阪府泉大津市 板原1236	272060		53度 23分 30秒	168度 10分 15秒	19950224	4.40	鉄骨平屋建て展示場建設に伴う事前調査
	我孫子94－1の一部			53度 11分 55秒	167度 45分 15秒	19960119	10.80	鉄骨3階建て店舗付共同住宅建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
豊中	集落 社寺跡	縄文 古墳 平安 中世	遺構は検出されなかった	土師器・瓦　破片	層序は盛土、西隅で耕土、黄灰色土、灰黄色土、東は茶灰色土となり、黄色土、灰茶色土が続く。 黄灰色土、灰黄色土は遺物包含層
			遺構は検出されなかった	土師器　破片	層序は耕土、灰色砂、灰黄色土、灰黄色砂質土が堆積し、灰色砂の下に黄灰色粘質土が一部見られる。 黄灰色粘質土は遺物包含層
虫取	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序は耕土、床土、灰黒色砂質土、灰色砂質土、灰色粗砂質土、黄灰色粘質土、礫が堆積する。
板原	集落	縄文 古墳 中世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序は盛土、灰茶色土、黄灰色粘質土、灰黄色粘質土、灰黄色砂質土、灰茶色砂質土となる。
		近世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	層序はアスファルト、黄灰色粘土、緑灰色砂礫、黒灰色粘質土となる。

報告書抄録 その3

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
七ノ坪	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 きたとよなかちょう 北豊中町1丁目 540－1 541	272060		52度 37分 00秒	166度 43分 00秒	19950803	5.17	鉄骨2階建て共同住宅建設に伴う事前調査
しのめ 東雲	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 しののめちょう 東雲町80－3、81－2 85－2、－6	272060		53度 50分 50秒	166度 12分 35秒	19960124	4.80	鉄筋コンクリート3階建て独身寮建設に伴う事前調査
もり 森	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 ひがしすけまつちょう 東助松町1丁目 421－1 422	272060		52度 36分 15秒	165度 06分 50秒	19960216	9.00	鉄筋コンクリート6階建て共同住宅建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
七ノ坪	集落 その他の墓	弥生 古墳	灰茶色土面、黄茶色粘砂土面からピット様の土色変化あり。	遺物は検出されなかった	層序は耕土、灰茶色土、黄茶色粘砂土、黄灰色砂質土、茶灰色砂質土、灰色粗砂となる。
東雲	集落	古墳 中世	遺構は検出されなかった	土師器・瓦器　細片	層序はコンクリート、旧盛土、旧耕土、灰オリーブ色シルト、黄灰色シルト、灰黄色土粘質土、灰色粗砂、茶黄色粘質土となる。 旧耕土に遺物包含
森	集落	古墳	遺構は検出されなかった	土錘	層序は耕土、灰茶色土、灰黄色土、黄灰色粘質土、灰茶色粘質土、茶灰色粘質土、黄色粘質土、灰黒色粘質土、灰色砂となる。 灰黄色土は遺物包含層

泉大津市文化財調査報告28

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報14

１９９６年３月

発　行　泉大津市教育委員会
編　集　社会教育課
　　泉大津市東雲町９番12号

印　刷　泉大津市池浦町３丁目11番11号
　　ダイエー印刷株式会社